



Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース No.30
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1978, 30, p. 3-32
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/65385">https://hdl.handle.net/11094/65385</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 新システム移行計画

今年10月から来年1月にかけて、当センターの現有システムACOSシリーズ77NEACシステム800（以下システム800と略す）を上位機種であるACOSシリーズ77NEACシステム900（以下システム900と略す）に切換えるもので、今後の移行計画については、システム900の導入に同じくして多様な入出力装置を拡充するため、ソフトウェアの準備及びそのサービス・エリアの確保等種々問題があり、センターでも現在検討を進めておりますが、ここでは既に搬入を予定している図形処理装置やTSS端末の増設等、利用者からみて特に関係が深いと思われる事項について、その概要をお知らせいたします。

なお、新システムは、本年10月初旬に搬入され、11月より12月までの約2ヶ月間の運用テストに引き続き、昭和54年1月より正式サービスを開始する予定です。

## 1. 移行計画日程

	53/8 9 10 11 12 54/1 2 3 4
システム800	→-----→
システム900	10/10 搬入 →
運用テスト（バッチのみ）	11/1 ←→
〃 (TSS. バッチ)	12/1 ←→
正式サービス	→

（注）システム900のセンター各種サービスプログラムが準備でき次第昭和53年11月からシステム800より順次移行を行う予定です。

## 2. 運用関係

## (1) 現行サービスの移行

既設端末、ファイル等の移行については、基本ソフトウェアがシステム900においても、現用のシステム800においても、同一のオペレーティングシステムACOS-6であるため、移行作業はセンター側の切換作業のみで済みます。

なお、既設端末、ファイルの移行方法については、事前に各利用者に移行時期の希望調査を行い実施する予定です。

## (2) システム 900 による新しいサービス

### ア、貢 検 索

利用者入出力室（バッチジョブ）を利用している利用者は、従来計算結果をラインプリンターに出力させてからでないと計算結果の内容を見ることができませんでしたが、貢検索用ディスプレイを利用することにより、次のような利用が可能となります。

(ア)出力結果の貢単位による検索

(イ)出力結果の貢単位による編集

(ウ)出力結果のキャンセル

### イ、図形処理

従来、図形処理としては、ドラフター作図装置のみのサービスしか行っていませんが、システム 900 搬入に伴い、次のような 3 種類のサービスが、オーブン方式で利用できるようになります。

(ア) ディジタルプロッタによる図形出力

(イ) 3 次元リフレッシュ型ライトペン付カラーグラフィックディスプレイによる図形処理

(ウ) 蓄積型グラフィックディスプレイによる TSS 用図型処理

### ウ、利用者入出力

新しい利用者入出力として、フロッピディスク、手書き OCR (光学文字読取装置) の各媒体を取扱うことができます。

なお、フロッピディスクは、オンライン (TSS) 及びオフラインの利用が可能となります。

### エ、センター内端末の増設

現在、当センター特殊端末室には、ミニプリンター 4 台を TSS 端末として利用しているたでいますが、次のような端末が増設されます。

(ア)キャラクターディスプレイ端末 5 台

(イ)バトミントンプリンター端末 5 台

(ウ)ミニプリンター端末 1 台増設

以上の端末が増設され、特殊端末室の端末は、計 15 台設置されることになります。

### オ、トークンカードによるデマンド出力

現在、デマンド出力は、端末機（ミニプリンター）を用いて、デマンドサービスを行っていますが、システム 900 の正式サービス（昭和 54 年 1 月）開始から、トークンカード（磁気カード）を利用してデマンドサービスをするように予定しています。

以上の新規サービスについては、現在運用方法等を検討中であるため、詳細については、  
今後運用方法、運用開始日時が決まり次第、速報等でお知らせいたします。

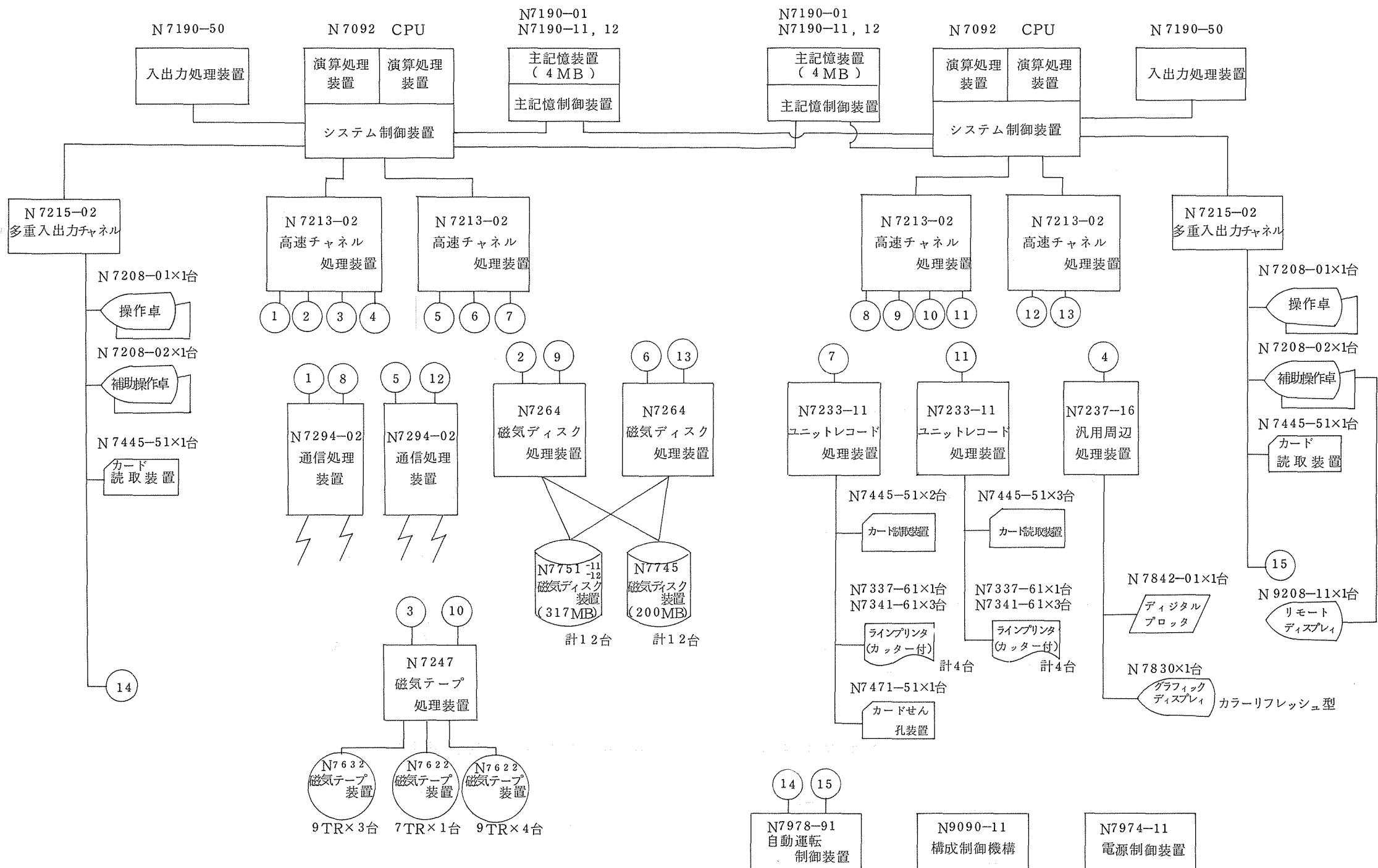
### 3. 次期システム構成図

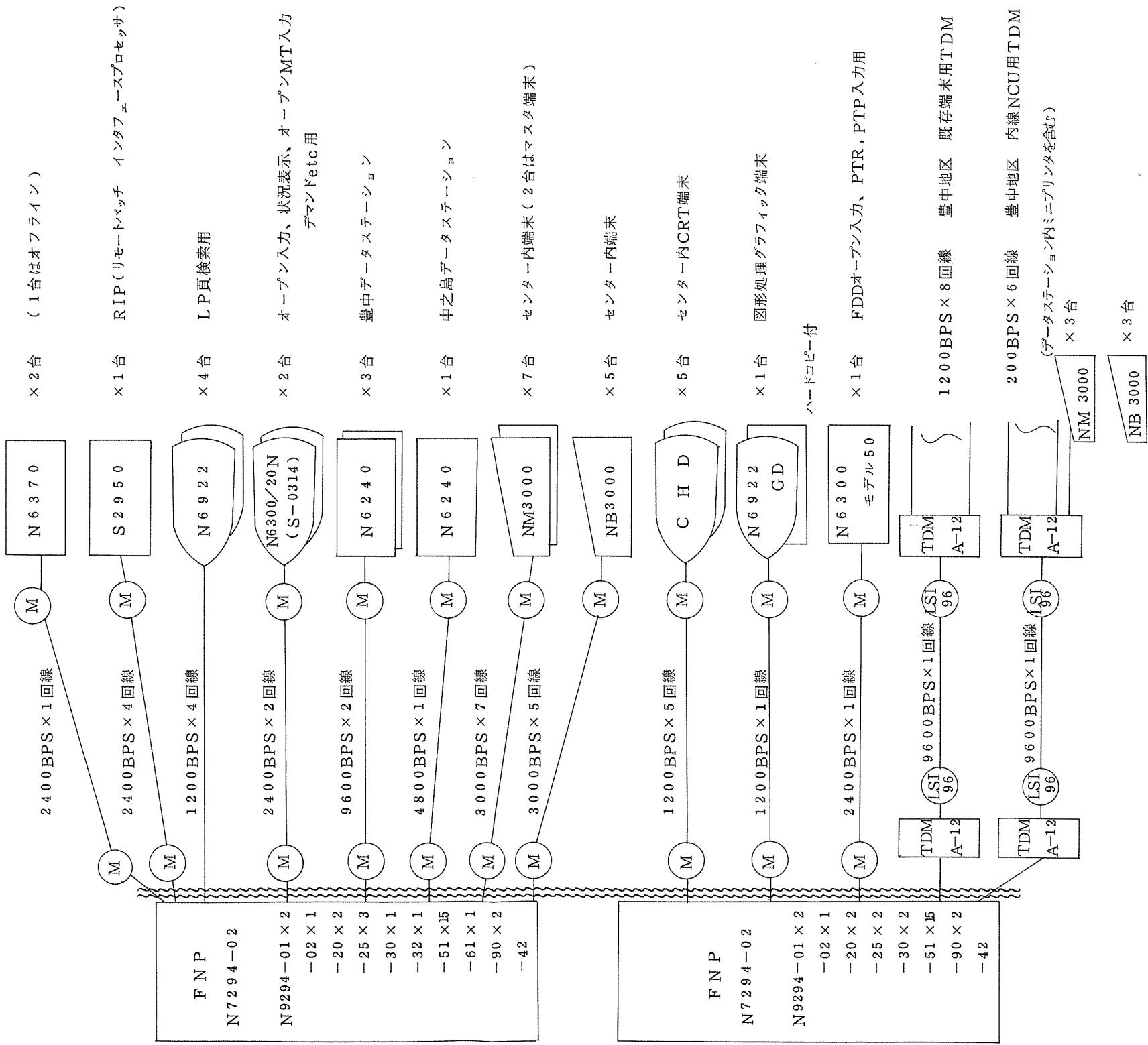
別紙のとおり

(業務掛・共同利用掛)

システム構成図

ACOSシリーズ77NEACシステム900モデル2





各種委員会委員名簿

運営委員会委員

	所	属	職	名	氏	名
委員長	セントタ一長		教 授	高木	修	二理
委員	東北大學	電気通信研究所	助 教	高橋	周	聰
"	東京大學	教養學部	教 授	小野	年	雄
"	京都大學	大型計算機センター	助 教	星野	豊	明助
"	神戸大學	工 学 部	"	高森	年	弘
"	岡山大學	理 学 部	"	川端	親	之
"	徳島大學	工 学 部	教 授	富田	義	三彦
"	大阪府立大學	"	"	児島	誠	保郎
"	大阪市立大學	理 学 部	"	尾崎	和	次郎
"	関西学院大學	"	"	中津	春	弘
"	大阪大學	人間科學部	"	西横	春	全民
"	"	経済學部	"	金山	順	一裕
"	"	理學部	"	森住	光	誠男
"	"	医学部	助 教	崎嶋	暢	之
"	"	工 学 部	"	谷井	三慶	敏
"	"	"	"	牧井	内塚	俊
"	"	"	"	手井	井澤	正夫
"	"	"	"	安井	澤山	之
"	"	基礎工学部	助 教	藤西	所	収
"	"	"	"	角角	戸藤	正治
"	"	教養部	"	角齋		
"	"	産業科学研究所	"			
"	"	蛋白質研究所	"			
"	"	事務局長				

### 常任委員会委員

	所 属		職 名	氏 名	
委員長	センタ一長		教 授	高木	修二
委員員	関西学院大学	理 学 部	“	中津	和三
“	大阪大学	経済学部	“	横山	保
“	“	理 学 部	“	森	順次郎
“	“	理 工 学 部	“	尾崎	弘全
“	“	“	“	閑谷	郎
“	“	“	“	牧之	三郎
“	“	基礎工学部	“	藤澤	俊男
“	“	蛋白質研究所	“	角戸	正夫

### 教育・広報専門委員会委員

	所 属		職 名	氏 名	
委員長	大阪大学	理 学 部	教 授	森	順次郎
委員員	大阪電気通信大学	工 学 部	“	石	正士
“	大阪大学	人間科学部	助 教 授	吉田	光雄
“	“	理 学 部	講 師	崎山	稔
“	“	医 学 部	“	高木	彦
“	“	工 学 部	助 教 授	安岡	則武
“	“	“	講 師	林	正
“	“	基礎工学部	助 教 授	保田	豊
“	“	教 養 部	“	渡部	一
“	“	産業科学研究所	“	張吉	夫

### 研究開発計画専門委員会委員

	所 属		職 名	氏 名	
委員長	大阪大学	工 学 部	教 授	牧之	三郎
委員員	“	理 学 部	助 教 授	村岡	光雄
“	“	工 学 部	教 授	笠井	暢民
“	“	“	助 教 授	安井	裕郎
“	“	教 養 部	“	萬代	三郎

### 次期システム検討委員会委員

	所 属		職 名	氏 名	
委員長	センター長		教 授	高木	修二
委員	大阪大学	経済学部	"	横山	保
"	"	工学部	"	尾崎	弘
"	"	"	"	牧之内	三郎
"	"	"	助教 授	安井	裕
"	"	基礎工学部	教 授	藤澤	俊男
"	"	大型計算機センター	助教 授	藤井	護

### 運用室会議委員

	所 属		職 資	氏 名	
座長	大阪大学	工学部	教 授	関谷	全
委員	"	理学部	助 手	寺倉	清之
"	"	薬学部	助教 授	藤原	二郎
"	"	工学部	"	安井	裕
"	"	"	"	嘉納	秀明
"	"	"	助 手	橋	英三郎
"	"	基礎工学部	"	奥田	秀
"	"	産業科学研究所	"	堀内	弘之
"	"	蛋白質研究所	助教 授	田中	信夫

### プログラム相談員名簿

所	属	職 名	氏 名
奈良県立医科大学		助 手	赤井 久純
大阪電気通信大学		"	武知 英夫
大阪大学	理学部	"	城 健男
"	"	大学院後期課程	浜 田 典明
"	"	"	畠 安雄
"	薬学部	助 手	藤井 敏
"	工学部	"	三木 邦夫

所	属	職名	氏名
大阪大学	工学部	助手	斎藤年史
"	"	"	打浪清一
"	"	大学院後期課程	久保登
"	"	大学院前期課程	橘哲一
"	"	助手	伊藤皓正
"	基礎工学部	"	植村知正

プログラム指導員名簿

所	属	職名	氏名
釧路工業高等専門学校		講師	風間輝雄
東北大學	電気通信研究所	助教	高橋理一
"	理学部	助教	氏慧
岩手大學	工学部	助教	家武彦
東京農工大學	"	助教	井田稔
"	"	助教	眼孝
電気通信大學		助教	藤梅
神奈川大學	工学部	助教	島朗
茨城大學	理学部	教員	斎茂
東京水産大學		講師	島伸
玉川大學	工学部	助教	本友
岐阜工業高等専門学校		助教	堀正
名古屋市立大學	経済学部	助教	堀充
名古屋工業大學		助教	村正
名古屋大學	大型計算機センター	助教	中橋次
金沢大學	工学部	助教	佐アヤ
"	"	助教	佐タ
京都工芸繊維大學	工芸学部	助教	飯次
金沢工業大學		助教	長三
滋賀大學	経済学部	助教	西弓
"	経済短期大學部	助教	弓芳
関西學院大學	情報処理センター	講師	加恭
岡山理科大學	"	講師	矢浩
		助手	矢俊
		師手	法俊
		師手	雄真
		助手	青俊
		師手	山俊
		助手	江俊

所 属		職 名	氏 名	
神 戸 大 学	工 学 部	"	鷹 岡 康 夫	
阿 南 工 業 高 等 専 門 学 校		"	吉 川 勝 幸	
大 阪 医 科 大 学		講 師	山 本 和 子	
大 阪 府 立 大 学	計 算 セ ン タ 一	助 教 授	西 村 ミ チ コ	
広 島 修 道 大 学	商 学 部	教 授	田 辺 拓 雄	
南 九 州 大 学	園 芸 学 部	講 師	増 田 康 雄	
九 州 大 学	工 学 部	文 部 技 官	塩 川 浩 三	豊
大 阪 大 学	齒 学 部	助 教 授	森 脇 義 治	
"	工 学 部	"	難 橋 英 三	郎
"	"	"	萬 代 三 郎	
"	教 養 部	助 教 授	小 川 和 英	
"	"	"	山 崎 魏	
"	核 物 理 研 究 セ ン タ 一	"		
"	医 療 技 術 短 期 大 学 部	講 師	大 森 正 昭	

## 昭和 53 年度 計算機稼動状況

## シス テ ム ACOS シリーズ 77 NEAC (システム 800) 記憶容量 4096 KB (単位:時間)

	4 月	5 月	6 月	合 計	平均
サービス時間	174:01	191:08	208:17	573:26	191:08
開発時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習会時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備時間	2:10	2:51	4:05	9:06	3:02
アキ時間 (※)	0:05	1:30	2:30	4:05	1:21
業務時間	317:41	261:08	225:01	803:50	267:56
小計 (A)	493:57	456:37	439:53	1390:27	463:29
保守時間 (B)	37:28	45:13	56:34	139:15	46:25
故障時間 (C)	0:00	1:50	3:03	4:53	1:37
運転時間 (A+B+C)	531:25	503:40	499:30	1534:35	511:31
稼動率 (A-※)/(A+B+C) %	92.9	90.3	87.5	—	90.3
稼動可能率 (A/(A+B+C) %	92.9	90.6	88.0	—	90.6
運転日数 (D)	27	26	29	82	27
一日平均時間 (A/D)	18:17	17:33	15:10	16:57	16:57

昭和 53 年度 バッチ利用状況表

処理月 利用形態		4月	5月	6月	合計
オーブン	処理件数	3,253(23.1)	4,141(23.2)	5,178(25.9)	12,572(24.2)
	CPU時間	27,847	39,938	50,282	118,067
デマンド	処理件数	1,601(11.4)	2,270(12.7)	2,462(12.3)	6,333(12.22)
	CPU時間	298,198	283,203	324,851	906,252
オーブン 磁気テープ	処理件数	0( 0.00)	80( 0.44)	350( 1.75)	430( 0.82)
	CPU時間	0	1,165	11,093	12,258
クローズ	処理件数	10( 0.07)	27( 0.15)	49( 0.24)	86( 0.16)
	CPU時間	66	1,113	3,772	4,951
会話型 リモート	処理件数	502( 3.57)	567( 3.17)	996( 4.98)	2,065( 3.98)
	CPU時間	62,329	52,680	73,460	188,469
その他	処理件数	2,384(16.9)	3,171(17.7)	3,146(15.7)	8,701(16.7)
	CPU時間	62,806	104,293	98,604	265,703
リモート	処理件数	2,564(18.2)	3,387(18.9)	3,530(17.6)	9,481(18.2)
	CPU時間	139,019	141,378	128,218	408,615
TSS	会話数	3,716(26.4)	4,194(23.5)	4,254(21.3)	12,164(23.4)
	CPU時間	169,170	119,341	128,775	417,286
合計	処理件数	14,080	17,837	19,965	51,832
	CPU時間	759,435	743,111	819,055	2,321,601

(注) 1. ( ) 内は % を示す

2. 合計欄の処理件数には TSS 会話数を処理件数とみなして集計している。

昭和52年度 バッヂ利用状況表

システム	JOB区分	月	4月(%)	5月(%)	6月(%)	7月(%)	8月(%)	9月(%)	10月(%)	11月(%)	12月(%)	1月(%)	2月(%)	3月(%)	合計(%)	
I	オーブン	処理件数	0(0.00)	0(0.00)	0(0.00)	0(0.00)	0(0.00)	0(0.00)	27(0.91)	0(0.00)	0(0.00)	26(0.7)	0(0.0)	0(0.0)	53(0.1)	
	CPU時間	0	0	0	0	0	0	400	0	0	233	0	0	633		
	A	処理件数	302(20.98)	403(15.09)	567(16.18)	735(21.69)	586(18.97)	867(22.28)	382(12.90)	512(15.71)	600(15.97)	581(16.9)	631(13.8)	627(20.6)	6,799(17.4)	
	CPU時間	2,656.5	3,391.0	4,831.0	6,066.5	4,866.0	7,212.1	3,135.9	4,479.6	5,104.2	5,816.4	5,548.3	6,236.4	59,343.9		
	B	処理件数	897(62.77)	1,528(57.24)	1,726(49.27)	1,484(43.80)	1,425(46.14)	1,281(32.93)	1,192(40.28)	1,305(40.04)	1,724(45.88)	1,571(45.2)	2,484(54.6)	1,664(54.7)	18,281(46.8)	
	CPU時間	20,654.5	35,885.5	37,375.5	32,525.4	29,132.1	25,188.5	26,200.8	30,266.0	44,570.9	35,816.6	55,216.1	38,893.9	41,172.58		
	C	処理件数	15(1.04)	7(0.26)	10(0.28)	21(0.61)	65(2.10)	51(1.31)	99(3.34)	84(2.57)	56(1.49)	45(1.2)	80(1.7)	56(1.8)	589(1.4)	
	CPU時間	2,535.5	8,666	18,690	17,651	9,150.3	4,630.5	15,043.1	14,358.1	7,860.8	5,713.3	8,209.7	9,138.0	818,400		
	リモート・バッヂ	処理件数	190(13.29)	641(24.01)	1,033(29.48)	874(25.79)	500(16.19)	942(24.21)	783(26.46)	899(27.58)	1,056(28.10)	872(25.1)	904(19.8)	307(10.1)	9,001(23.08)	
	CPU時間	13,647	13,466	24,935	22,109	15,257	3,409.1	30,949	33,941	4,820.8	7,640.6	11,743.0	27,815	458,254		
	その他	処理件数	25(1.74)	90(3.37)	167(4.76)	274(8.08)	512(16.58)	749(19.25)	476(16.08)	459(14.08)	321(8.54)	369(10.6)	444(9.7)	383(12.6)	4,269(10.9)	
	CPU時間	243	445	1,947	2,921	8,176	4,967	9,732	15,234	10,858	15,228	10,835	7,213	9,079.9		
	計	処理件数	1,429	2,669	3,503	3,388	3,088	3,890	2,959	3,259	3,757	3,470	4,543	3,037	38,992	
	CPU時間	272,355	415,342	470,637	428,600	454,917	409,369	484,879	540,212	634,425	565,330	825,006	577,711	6,078,783		
II	暫定バッヂ	処理件数	55(12.14)	208(9.69)	246(13.14)	346(11.40)	414(10.92)	414(8.65)	234(5.86)	324(7.36)	497(10.43)	1,488(30.1)	1,298(21.6)	579(15.5)	6,103(13.9)	
	CPU時間	229	3,391	13,825	4,609	4,666	3,648	13,521	4,831	37,325	49,425	13,470.7	36,833	307,010		
	リモート・バッヂ	処理件数		82(3.82)	110(5.87)	905(29.82)	1,371(33.55)	1,695(35.44)	1,829(45.84)	2,121(48.21)	2,467(51.79)	2,044(41.3)	3,314(55.2)	2,126(56.9)	18,064(41.1)	
	CPU時間		683	4,097	9,002.7	95,892	53,519	51,889	71,578	10,920.3	107,575	24,398.2	179,572	1,008,017		
	その他	処理件数	396(87.80)	1,856(86.48)	1,515(80.97)	1,783(58.76)	2,003(52.87)	2,673(55.89)	1,927(48.29)	1,954(44.41)	1,799(37.77)	1,407(28.5)	1,391(23.1)	1027(27.3)	19,731(44.98)	
	CPU時間	14,610	41,714	36,925	82,569	35,878	57,489	61,494	66,280	62,578	39,792	25,932	34,990	56,025.1		
	小計	処理件数	451	2,146	1,871	3,034	3,788	4,782	3,990	4,399	4,763	4,941	6,003	3,732	43,870	
	CPU時間	14,839	45,788	68,672	177,205	136,436	114,656	126,904	142,689	209,106	196,792	40,462.1	351,234	1,990,922		
	T S S	処理件数	1,314	2,762	1,852	3,055	2,819	3,164	2,552	3,042	3,667	2,659	3,092	2,431	32,409	
	CPU時間	16,664	26,128	17,031	71,324	70,384	142,773	116,484	111,784	148,133	104,322	161,362	99,847	1,086,236		
III	オーブン	処理件数	4,121(74.38)	5,730(70.58)	7,224(74.05)	6,857(75.13)	5,096(63.36)	5,954(63.88)	4,951(66.71)	6,830(70.46)	7,168(70.18)	7,025(70.4)	8,081(69.1)	5,266(70.6)	74,303(69.8)	
	CPU時間	52,505	69,833	91,336	93,205	66,866	78,851	61,801	88,489	92,003	91,916	106,718	70,983	96,450.1		
	A	処理件数	1,152(20.79)	1,914(23.57)	1,789(18.30)	1,404(15.38)	1,660(20.64)	1,501(16.10)	1,552(20.91)	1,869(19.28)	1,962(19.21)	1,982(19.8)	2,255(19.3)	1,057(14.1)	20,097(18.8)	
	CPU時間	87,473	125,031	126,760	103,476	127,250	129,612	114,123	142,172	162,934	174,653	182,734	97,623	1,573,841		
	B	処理件数	117(2.11)	153(1.88)	91(0.93)	179(1.96)	162(2.01)	262(2.81)	109(1.46)	61(0.62)	47(0.46)	30(0.3)	46(0.3)	56(0.7)	1,313(1.2)	
	CPU時間	27,447	32,569	22,982	36,230	23,205	56,248	23,948	13,568	9,354	10,736	11,264	10,920	278,471		
	C	処理件数	64(1.15)	118(1.45)	131(1.34)	114(1.24)	202(2.51)	185(1.98)	194(7.61)	224(2.31)	267(2.61)	224(2.2)	363(3.1)	276(3.1)	2,362(2.2)	
	CPU時間	85,746	92,732	136,274	92,404	222,137	118,289	214,323	236,021	309,981	248,232	297,593	364,459	2,418,191		
	その他	処理件数	86(1.55)	203(2.50)	520(5.33)	572(6.26)	922(11.46)	1,418(15.21)	615(8.28)	709(7.31)	769(7.53)	712(7.1)	933(7.9)	803(10.7)	7,493(7.0)	
	CPU時間	569	2,637	4,687	4,627	11,443	15,156	11,726	10,385	17,174	13,027	13,719	11,011	116,161		
	計	処理件数	5,540	8,118	9,755	9,126	8,042	9,320	7,421	9,693	10,213	9,973	11,678	7,458	106,337	
	CPU時間	253,740	322,802	382,039	329,942	450,901	398,156	425,921	490,635	591,446	538,564	612,028	554,996	5351,270		
IV	T S S	会話数	284	216	54	4,356	S 52.6.11日をもってサービスを終了した。									

(注) 1. %は、同一システム内での百分比を示す。

2. システムIは、NEAC2200シリーズ・モデル700。システムIIは、ACOSシリーズ77システム700。システムIIIは、NEAC2200シリーズ・モデル700。システムIVは、NEAC2200シリーズ・モデル500。(6月末撤去)

\* おわび センター・ニュースNo.29の11~12pに掲載しましたバッヂ利用状況表に一部誤りがありましたので再掲載します。

## 「速報」及び「お知らせ」の集録

＜速報№ 52 (53. 6. 9) より＞

### I デマンド・プリント・サービスの開始について

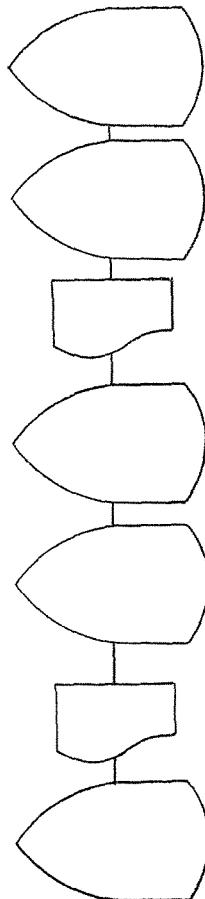
現在、A, B, C, D, F各クラスのジョブは一階デマンドプリント室のラインプリンタに出力（処理が終了後プリント出力）していますが、6月19日よりデマンド機能を追加し、デマンド・プリント・サービスを開始いたします。

このサービスにより、利用者はデマンドプリント室にある端末（ミニプリンタ）から利用者自身のジョブ出力をプリントアウトしたり、ジョブ出力のキャンセル（ジョブ出力中のジョブはキャンセルできません）を行うことができます。

詳細な操作法はデマンドプリント室に掲示しますのでそれを参照してください。

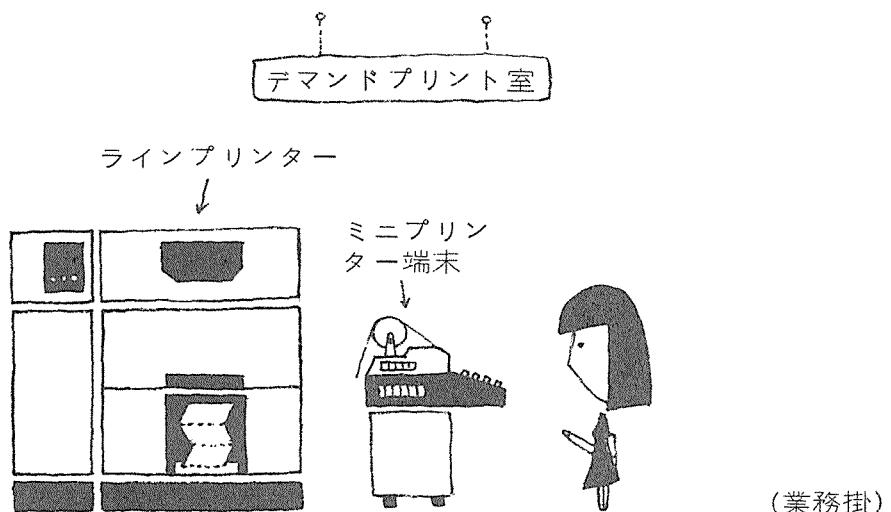
ただし、CARDINサブシステム、BPRINTを利用して計算結果（ファイル・イメージを含む）をセンター出力した場合は、センター側で仕訳を行い返却棚に返却いたします。

## ※操作法



1. ミニプリンタからログオンする  
(CTLキーとAキーを同時に押す)
2. 利用者の課題番号とパスワードを入力
3. LIST (cr) を入力し現在プリント待ちのジョブをリストアップする。  

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE
XX	XXXXX	X	XXX
4. ALLP (cr) 又は SELP (cr) を入力しジョブを出力するか、 ALLC (cr) 又は SELC (cr) を入力してジョブをキャンセルする。
5. プリント要求又はキャンセル要求がまちがっていなければ GO (cr) を入力する。
6. プリントスタート又はキャンセル処理
7. プリント出力又はキャンセル処理が終了すれば BYE (cr) か NEWU (cr) を入力する



## II カナ文字入出力の運用サービス開始について

カナ文字の入出力がオープン。ジョブクラス以外で利用できるようになりました。特別なジョブ制御文は必要ありませんが、FORTRANプログラムでカナ文字を使用する時はJISモードで翻訳する必要があります。

詳細は「FORTRANプログラミング説明書」の第10章を参照してください。

(業務掛)

## III ファイル使用説明書・オンライン関係利用説明書及び利用の手引きの発行について

昭和53年4月からのACOSシリーズNEACシステム800（以下S800という）正式運用サービスに伴い、ファイル使用説明書・オンライン関係利用説明書及び、利用の手引きを発行いたしました。

ファイル使用説明書は、これまでセンター・ニュースに連載してきました「ACOSファイル」に補足説明等を加え編集したものです。

オンライン関係利用説明書は、従来のTSS関係だけにとどめず、リモート関係・これら関係書類等を掲載し、本説明書だけでオンライン関係全般がわかるようになっています。

また、利用の手引きはこれまでの様式を変更し用語・実例等を辞書方式で掲載しました。

これら、利用の手引き等の内容については、説明不足の部分も多々あると思われますが、利用者の意見等を参考にして改訂していく予定ですのでお気付きの点があれば共同利用掛まで御意見等をお寄せください。

(共同利用係)

## IV NEAC2200/700ユーザー・ファイルのS800一括移行ファイルの消去について

速報No.49で添付しました「年度切り換え時におけるファイル移行及び継続申請書」の⑤にお知らせしましたとおりNEAC2200/700のユーザー・ファイルのS800への移行作業はS800のクイックファイルとして登録し、これを利用者自身によって移行してもらうものでしたが、利用者の利用（課題）申請の遅れ、作業の誤りによる不確実な移行によって、当初の予定であったクイックアクセスファイルの在存期間である4月中には移行作業が無理となる利用者がでてきたことによって、5月中まで延長しました。

これにより、移行作業は完全に終了したと思われるため、5月31日を期してクイックアクセスファイルを全て消去しましたのでお知らせします。

(業務掛)

〈速報№53 (53.7.24) より〉

## I TSS ターミナルからのデマンド・ジョブ問合せ

### 1. 概要

デマンド・プリント用ジョブの問合せ及び、キャンセルが可能になりました（プリントは不可）。今のところコネクト可能な端末装置はミニプリンタ（公衆電話回線も可）及び、ニアックタイパ（N6020、N6021型）だけです。

使用法及び、出力メッセージはセンター内のデマンド・プリント・サービス専用の端末とほぼ同様です。

### 2. 使用法（下線部は利用者が入力）

- ① TSS とディスコネクトする
- ② \$\$\$CON,DEMAND cr → 問合せ D A C プログラムとコネクト
- ③ \*START DEMAND : yy mmd d hh . mmm
- ④ \*USER ID - XXXXXXXXXX cr → 課題番号入力（cr のみの場合は⑨へ）
- ⑤ \*PASSWORD - XXXXXXXXXXXX cr → パスワード入力（cr のみの場合は⑨へ）
- ⑥ \*FUNCTION - XXXX cr → (注1) 参照
- ⑦ \*ACTION - XX cr 実行可であれば GO cr 又は cr を入力  
⋮ 再び FUNCTION に戻すには NO cr を入力
- ⑧ \*FUNCTION - XXXX cr → ⑥と同様
- ⑨ \*END DEMAND : yy mmd d hh . mmm
- ⑩ N1041 hh : mm : ss DIS - CP → ディスコネクト

(注1) FUNCTION の種類

- (a) LIST cr → 全登録ジョブ名（デマンドジョブのみ）の端末出力  
(注2) 参照
- (b) ALLC cr → 全登録ジョブ（デマンドジョブのみ）キャンセル
- (c) SEL C cr → ジョブキャンセルの選択 (注3) 参照
- (d) BYE cr → 処理終了
- (e) NEWU cr → 新利用者への引渡し要求

(注2) L I S T形式

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE	SYS IN-TIME	COMMENT
XX	XXXXW	X	XXXXX	y ymmdd hh:mm	:
:	:	:	:	:	:
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)

- (a) 抽出対象番号  
(b) S N U M B名  
(c) ジョブクラス  
(d) ファイルサイズ (L L I N K単位)  
(e) ジョブ投入日時  
(f) カードパンチを含む場合 P U N C H

“ 含まない場合 ブランク

(注3) S E L C (cr) 入力時は以下の操作を行う。

\*ENTER SEQ. NO —

n1, n2, n3 ..... n9, n0 (cr)

指定例

01, 02, 05 (cr)

注意)

- 最高10ヶまで指定できる
- (cr)のみ入力の場合はFUNCTIONに戻る
- 指定値はLIST指定で出力されたジョブ名のSEQ番号を入力する
- 指定値は必ず2けたでありコンマで区切る
- 指定値の最後には必ず(cr)を入力する

### 3. 注意事項

- サービス時間はT S S サービスと同じですがサービス終了時刻の5分前には新たにコネクトはできません。
- A L L C (cr)コマンド入力後は B Y E (cr)又は N E W U (cr)コマンド以外受け付けません。
- S E L C (cr)コマンドで特定ジョブのキャンセルをした後 L I S T (cr)コマンドを入力するとシーケンス番号が変わるので注意すること。
- カードパンチを含むジョブをキャンセルした場合カードパンチが出力されます。
- ミニプリンター及び、ニアックタイパ以外の端末では、コネクトができても正常に作動

しないことがあります。

#### 4. メッセージ

* ILLEGAL USER ID	入力された課題番号が間違っている
* ILLEGAL PASSWORD	入力されたパスワードが間違っている
* ILLEGAL FUNCTION	入力されたFUNCTIONコマンドが間違っている
* FORMAT ERROR nn	入力されたSEQ.NOのnn番目が間違っている
* THIS USER ID UNACCEPTABLE NOW	入力された課題番号は他端末により処理中であるので認められない
* NO JOB IN DEMAND FILE	デマンドジョブは登録されていない
* DEMAND SYSTEM ERROR	デマンドのシステムエラーが発生した
* THIS FUNCTION UNACCEPTABLE	入力されたFUNCTIONコマンドは認められない
* CANCEL REQUEST FINISHED	キャンセル要求が終了した
* THIS TERMINAL CANNOT BE ACCEPTED	コネクトしようとした端末がミニプリンタあるいはニアックタイパ以外であるので認められない
* FULL OF TERMINAL-- DISCONNECTED	現在5台の端末とコネクト中であるのでコネクトできない
* DEMAND SERVICE END-- DISCONNECTED	サービス終了5分前以内であるのでコネクトできない

\$\$\$\$DIS  
\$ N1010 14:12:51 DIS - DIS CMD  
\$\$\$CON,DEMAND  
\*START DEMAND : 780616 14.233  
\*USER ID-6000820123  
\*PASSWORD-  
EX000000000000000000000000000000  
\*FUNCTION-LIST  
\*ACTION-\_

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE	SYSIN-TIME	COMMENT
01	5557W	B	00048	771021	15.240
02	5552W	B	00048	771021	15.241
03	5553W	B	00048	771021	15.243
04	5554W	B	00048	771021	15.244 PUNCH
05	5555W	B	00048	771021	15.245 PUNCH
06	5556W	B	00048	771021	15.246 PUNCH
07	5557W	B	00048	771021	15.247
08	5558W	B	00048	771021	15.248
09	5558W	B	00048	771021	15.249
10	0011W	B	00048	771021	15.011 PUNCH
11	0012W	B	00048	771021	15.012
12	0013W	B	00048	771021	15.013
13	0014W	B	00048	771021	15.014
14	0017W	B	00048	771021	15.017
15	0018W	B	00048	771021	15.018 PUNCH

\*FUNCTION-SEL0  
\*ACTION-NO  
\*FUNCTION-SEL0  
\*ACTION-GO  
\*ENTER SEQ.NO-  
01,12,3  
\*FORMAT ERROR 03  
\*ENTER SEQ.NO-  
01,02,03  
\*FORMAT ERROR 02  
\*ENTER SEQ.NO-  
02,08,14

CANCELL REQUEST FINISHED 14.267

\*FUNCTION-ALLC  
\*ACTION-

CANCELL REQUEST FINISHED 14.273

\*FUNCTION-LIST  
\*THIS FUNCTION UNACCEPTABLE  
\*FUNCTION-NEWU  
\*USER ID-6000820114

\*PASSWORD-  
P@SSWORD\$R  
\*FUNCTION-LIST  
\*ACTION-\_

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE	SYSIN-TIME	COMMENT
01	0001W	A	00048	771021	16.001
02	0002W	A	00048	771021	16.002
03	0003W	A	00048	771021	16.003
04	0004W	A	00048	771021	16.004 PUNCH
05	0005W	A	00048	771021	16.005
06	0006W	A	00048	771021	16.006 PUNCH
07	0007W	A	00048	771021	16.007
08	0008W	A	00048	771021	16.008
09	0009W	A	00048	771021	16.009
10	0010W	A	00048	771021	16.011
11	0012W	A	00048	771021	16.012
12	0013W	A	00048	771021	16.013
13	0014W	A	00048	771021	16.014
14	0015W	A	00048	771021	16.015
15	0017W	A	00048	771021	16.017
16	0018W	A	00048	771021	16.018
17	AAA1W	B	00048	771021	17.001
18	AAA2W	B	00048	771021	17.002
19	AAA3W	B	00048	771021	17.003
20	AAA4W	B	00048	771021	17.004
21	AAA5W	B	00048	771021	17.005
22	AAA6W	B	00048	771021	17.006 PUNCH
23	AAA7W	B	00048	771021	17.007
24	AAA8W	B	00048	771021	17.008
25	AAA9W	B	00048	771021	17.009
26	AA10W	B	00048	771021	17.010
27	AA11W	B	00048	771021	17.011
28	AA12W	B	00048	771021	17.012
29	AA13W	B	00048	771021	17.013
30	AA14W	B	00048	771021	17.014
31	AA15W	B	00048	771021	17.015
32	AA17W	B	00048	771021	17.017

\*FUNCTION-BYE  
\*END DEMAND : 780616 14.301  
\$ N1041 14:17:07 DIS - CP  
\$\$CON,DEMAND  
\*DEMAND SERVICE END--DISCONNECTED\*  
\$ N1041 14:17:15 DIS - CP  
\$\$CON,DEMAND  
\*DEMAND SERVICE END--DISCONNECTED\*  
\$ N1041 14:17:26 DIS - CP

(システム管理掛)

## Ⅱ SNUMB カード使用の際の注意事項等について

速報№5 1でお知らせしましたように、同じ SNUMB カードを 2 度以上使用された場合、後の負担金通知書作成の際に混乱が起こります。又、何かの理由によって再計算依頼を行う必要があった場合にも該当ジョブの発見が不可能なために、再計算処理を受け付けることができません。

同じ、SNUMB カードを 2 度以上使わぬよう、又、センター・オープン入出力装置を使用しての利用の際には、1 度使用した SNUMB カードは使用済カード入れに返却することを厳守してください。

なお、該当月分再計算依頼は、翌月の 7 日までにジョブ受付まで申し出られるようお願いします。これ以後の依頼受付はできません。

(共同利用掛)

## Ⅲ 科学研究費による計算機利用申請について

負担経費区分が科学研究費である利用申請については、所定の申請書のほかに下記書類を必要としますので、利用申請書提出の際は、下記書類を必ず添付するようお願いします。

### 記

#### (1) 利用申請者が科学研究費を受ける代表者である場合

科学研究費補助金配分（内定）通知書の写し、又は、所属部局が申請者に発行した科学研究費の決定に関する通知書の写し。

#### (2) 分担者である場合

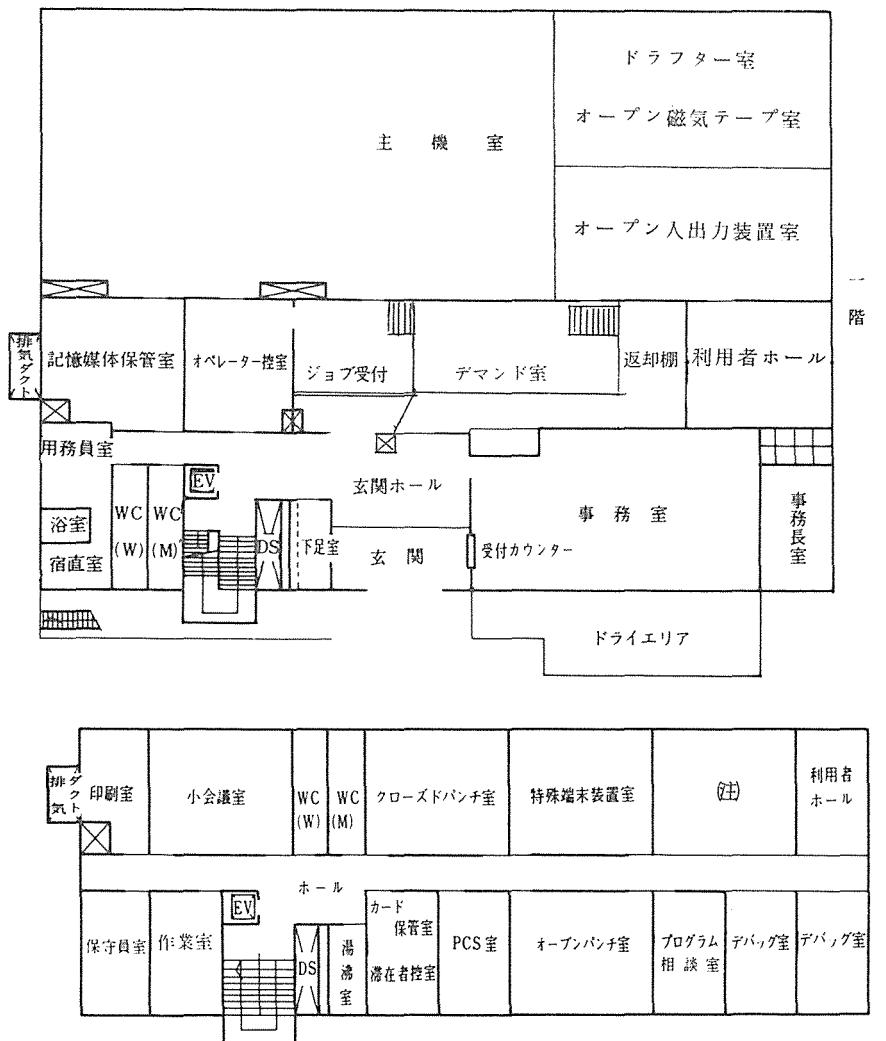
##### (1) のコピーと科学研究費補助金交付申請書の写し。

(共同利用掛)

## Ⅳ オープン入出力装置及び自動製図装置の移設について

現在当センター 2 階に設置しておりますオープン入出力装置（カードリーダー 2 台、ラインプリンター 2 台、ディスプレイ等）を 8 月 19 日（土）の午後と、20 日（日）に次図のように 1 階主機室隣に移設し、21 日（月）より、ここにおいてオープン入出力サービスを行います。

又、自動製図装置（ドラフター）についても、8 月 7 日（月）、8 月 8 日（火）に次図のように主機室隣に移設する作業を行います。この間利用できませんので御注意下さい。



(注) 54年1月からオープン入出力室(フロッピディスク、手書きOCR)として利用できる  
ように準備いたしますので、53年8月21日から54年1月までの間、利用者の入室  
は禁止いたします。

(業務掛)

#### ▽ カードせん孔機の一部変更について

7月末を期して当センター、豊中地区データステーション及び、中之島地区データステーションに設置しておりますカードせん孔機の一部を次表のように変更します。新機種の使用法について、設置場所に掲示しますので参照してください。

設置場所		せん孔機	せん孔機 (カ ナ 付)	インタ プリタ 付	検孔 せん孔 機 (カ ナ 付)	備考
センター	オープンパンチ室	8		1		
	デバッグ室	4	1			
	1階利用者ホール	1	1			
	P C S室(注)			1	1	2台を接続しカード複写可能とする
豊中D・S		6	1	1		
中之島D・S		1		1		

(注) P C S室のものは8月中旬に変更

(共同利用掛)

## Ⅶ センター・ライブラリーについて

### (1) センター・ライブラリーの移行登録について

帶行列に関する次の8個のサブプログラムがNEACシリーズ2200モデル700(以下M700という)からACOSシリーズ77NEACシステム800(以下S800という)のセンター・ライブラリーへ移行登録され、8月1日より使用可能となります。

各サブプログラムの使用方法はM700のときと同じですが<sup>1)</sup>、エラーメッセージの出力に変更があります。詳細については、センター・ニュースNo.30(8月刊行予定)でお知らせします。

#### (1) S800に登録されたサブプログラム

連立1次方程式

$$\begin{cases} \text{BSWEPS} \\ \text{BSWEPD} \end{cases} \quad \begin{cases} \text{YSWEPS} \\ \text{YSWEPD} \end{cases}$$

連立1次方程式と行列式

$$\begin{cases} \text{BDETES} \\ \text{BDETED} \end{cases} \quad \begin{cases} \text{YDETES} \\ \text{YDETED} \end{cases}$$

なお、上記8個のサブプログラムのランク<sup>2)</sup>は、いづれも2となります。

#### (2) 引数ILLの出力データ

サブプログラム内での計算結果の状況を与える引数ILL(整数型変数)の値について、

次の4の場合に変更があり、従来は正の値で出力されていたものが、絶対値は同じで負の値で出力されます。

- 1  $I L L = 0$  : 計算が正常に行われたとき
- 2  $I L L = -90000$  : 行列の整合寸法又は、次元数に関する入力データに語りがあったとき
- 3  $I L L > 0$  : 計算結果の精度が悪いとき
- 4  $I L L < 0$  : 与えられた行列が特異又は、擬特異のために、演算を中止したとき

### (3) エラーメッセージの消去

上記の引数  $I L L$  に、入力時に値を与えることにより、エラーメッセージの一部を消すことができます。

- 1  $I L L = 0$  : (2)の2～4の状態が生じたときには、従来どおりのメッセージを印刷します。
- 2  $I L L > 0$  : (2)の3の状態が生じたとき、エラーメッセージは印刷されません。
- 3  $I L L < 0$  : (2)の3,4の状態が生じたとき、エラーメッセージは印刷されません。

(注) 入力時には、 $I L L$  の値を指定してください。

上述の引数の変更は、速報No.5 1でお知らせしました正方行列の場合と同じです。

- 1) 大阪大学大型計算機センター：ライブラリー・プログラム仕様書、1976
  - 2) 大阪大学大型計算機センター：ライブラリー・プログラム一覧、1977
- (2)  $S L N E Q I$  の登録まつ消について

反復法による連立1次方程式の解法  $F 4 / S L N E Q I$  はプログラムに誤りがありましたので8月1日よりセンターライブラリーからまつ消します。同じ解法 ( $G A U S S - S E I D E L$  法) を用いたのが  $M A T H L I B$  の中にありますから (呼び出し名:  $S B G A U S$ ) そちらを御利用ください。

### (2) 書き換え作業の停止について

原子核反応解析プログラム  $Y I / T W O - S T E P$ 、 $Y I / D U W A C$  は作成者の都合により書換えを行わないことになりましたので御了承ください。

(研究開発部)

## VII 利用者講習会の開催日変更について

すでにセンター・ニュースNo.28で廻報しております昭和53年度利用者講習会計画のうち、7月上旬開催予定の「ファイルの利用法」の講習会を都合により9月中旬に延期いたしましたので御了承願います。

(庶務掛)